

2017-18 ROTARY INTERNATIONAL District 2710 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2017-18 年度
国際ロータリー第 2710 地区 ガバナー

藤中秀幸

GOVERNOR: Hideyuki Fujinaka
IWAKUNI CHUO ROTARY CLUB

「青少年奉仕月間」に寄せて

5月は青少年奉仕月間です。私たちロータリアンの重要な責務は、青少年の多様なニーズを認識しつつ、よりよき未来を確かなものにするために青少年の育成を図ることです。そのためにすべてのクラブと地区は、青少年の基本的ニーズ、即ち、健康、人間の価値、教育、自己開発を支援するプロジェクトを実施するよう奨励されています。

RIは、青少年や若い世代の社会人が将来リーダーとなるために、必要なスキルを身につけるための常設プログラムとして、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者育成プログラム(RYRA)、ロータリー青少年交換を用意しています。

インターアクトは、12歳から18歳までの青少年を対象に、ロータリークラブが提唱して結成され、毎年少なくとも2つの奉仕プロジェクト(国際理解と親善の推進そして地域社会の支援)を実施し、奉仕の心を学びます。当地区では20クラブ、524名の会員が元気に活動しています。

ローターアクトは、18歳から30歳までの青年男女を対象に、地域社会または大学を基盤としてロータリークラブが提唱して設立され、「奉仕のパートナーとして、ロータリー家族の重要な一員となります。当地区では7クラブ、60名の会員が友情の輪を

広げ奉仕の心を学ぶと共に、スキル向上のために研鑽に励んでいます。

RYRAは、ロータリーが実施するプログラムで、12歳から30歳の青少年を対象としています。本年度は柳井の地で「生きていることは学ぶこと。そして感動と出会い!!」のスローガンの下、「チーム力」をテーマに、ローターアクトや一般の青年男女120名(総参加者219名)が参加し、密度の濃い、思い出に残る研修を行ない、「チーム力」のすばらしさを十分に実感されたことと思います。

青少年交換は、15歳から19歳までの青少年に母国以外の国を訪問あるいは留学する機会を提供するもので、当地区では交換派遣学生、交換受入学生は、共に前年度は6名で本年度は4名と減少しています。交換派遣学生は、異文化との交流を通して人間的にも大きく成長して帰ってきます。課題は交換受入学生のホームステイ先の確保です。多クラブ間の連携によりホームステイ先を確保するなど、積極的な推進を期待します。

現在、青少年奉仕で最も大きな課題は、ローターアクトです。20年前は、広島分区6クラブ、山口分区9クラブ、総会員数は266名でしたが、現在は、広島分区4クラブ、山口分区3クラブ、総会員数は60名と激減しています。また、ローターアクトの金銭的負担(公平感を含めて)の問題もあります。活動はおもしろいが企業会員と一般会員の金銭的負担が違う、国内外の研修には大きな負担がかかる等、ローターアクトのみでは解決できない問題があります。地区委員会では、活動基金の創設、提唱クラブのみではなく、多クラブ間での連携支援の在り方、ロータリアンの経営する会社からの入会推進等、ローターアクト活性化の方途を検討しています。ロータリアンの皆様のご協力、ご支援を心からお願い致します。

ロータリー：変化をもたらす



Contents

ガバナーメッセージ.....1	G6・G7 合同 IM 報告.....5
青少年奉仕月間によせて - 今若者たちへ問う - ...2	G8 IM 報告..... 5~6
2018-19 年度 PETS&地区チーム研修セミナー報告...3	第 24 回ガバナー杯ロータリークラブ親善野球大会報告...6
G3 IM 報告.....4	会員増減・出席率(3 月度) 特別コラム.....7
G9 IM 報告..... 4~5	新会員紹介・物故会員紹介 文庫通信.....8



青少年奉仕月間によせて — 今若者たちへ問う —

国際ロータリー第2710地区 地区青少年奉仕カウンセラー・パストガバナー 金子 信

最近私にとって不可思議な光景に見えて仕方がないことがあります。それは折角若者達が集まっているのですが、楽しく談笑することもなく、各人が勝手勝手にスマートフォン弄ります。そう言えば都会の電車の中でも不気味なぐらい静かで、新聞や本を読むのではなく、小さな画面をひたすら指で触れている姿です。もっとひどいのは食事をしながらも…。

一体何の情報を得ているのでしょうか。メディアの氾濫の中で自分に都合のよい情報だけを取り入れてしまって、内にこもって変な個人主義を身につけてしまうのではと、不安でたまりません。

デジタル化社会の恩恵を私も受けながらも、あえてアナログ人間を宣言して、次年度で5度目の青少年奉仕カウンセラーを務めています。今回は次の二点に絞って申し述べます。

その一つがメラビアンの法則について

人は相手に自分の思いを伝える手段として、言語、音声、非言語等がありますが、それぞれは、何%の役割を果たしているのでしょうか。アメリカの心理学者メラビアンによると、純粋に言葉の内容が聞き手の印象に残るのはわずか7%で、次に話し方、語調などの音声の印象は38%。つまり、電話で詳しく話しても45%。更に表情、映像やジェスチャーなどの印象は55%というわけで、限りなく100%に近づけるためにはやはり面談となります。

直接会って対話する。つまり顔と顔をつきあわせて、相手の眼をしっかり見て対話することがいかに大切であるかという分析です。私達は、文明の利器ともいえる、携帯電話やメール等に頼りすぎていないでしょうか。それは、多様化した複雑な世の中で、誤解から生じるトラブルがあまりにも多い原因の一つだと思えるのですが。

二つ目は、『閃き』について

自分の職業分類(建築設計)からも閃きと云う言葉を日頃より大切にしています。(偶然にも次年度RI会長バリー・ラシン

氏のテーマが「インスピレーションになろう」と、つい先日のPETSで聞き、こども訳せると意を強くしました。)

人は生きていく上で常に学ばなくてはなりません。その対象が人であったり、書物であったりしますが、それらを飛び越えて世の中『目には見えない偉大なものがある』遺伝子学者村上和雄氏によると『サムシング・グレート』と表現していらっやいます。つまり人・書を飛び越えて、天から直接教えて頂くものを『閃き』と云うのだと私は理解しています。

閃くと云えば、アナログ社会を連想しますが、そうではなく、これからは正にデジタルとアナログの調和があってこそ、よりすばらしい閃きによる新しい社会が築かれると思えてなりません。

以上、この二つを若者に告げることが私達世代の使命に思えます。

おわりに、私も決して好きな言葉ではありませんが、後期高齢者と呼ばれる歳になってしまい、身体機能の衰えを感じるようになりました。老いは誰も避けられないし、その先は、自分の終わり、つまり死です。死を意識した時に初めて自分の出生と云う事を考えるし、更に、死が明確に意識できない年齢では自分の性、生涯と云うことを明確には意識できないし、明確になってからでは遅いこともあります。

少し弱気状態でものを考えることが多くなってしまいうこともありますが、元気な高齢者を目指したい今日この頃です。





2018-19年度 PETS&地区チーム研修セミナー報告

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 地区代表幹事 安保 雅文

3月18日(日)、ホテルグランヴィア広島において、パストガバナー、ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニ、ガバナー補佐をはじめ会長エレクト、藤中年度の地区委員、吉原年度の地区委員、晝田年度の地区委員、R財団委員、がん予防推進委員会委員等総勢177名の参加の下、研修セミナーが開催されました。

予定時刻通り午前10時に吉原GEの点鐘により開会し、合同本会議第一部が始まりました。国歌斉唱、ロータリーソング斉唱の後、吉原GEより挨拶とゲストの紹介があり、次年度地区研修リーダーの金子克也PGの挨拶、藤中ガバナーの挨拶と続きました。

次に吉原GEから「次年度RIテーマと地区運営方針」についての講演があり、バリー・ラシン次年度RI会長のテーマ「BE THE INSPIRATION インスピレーションになろう」について、会長が「より良い世界を作ることは可能だという、心の奥深くにある真の自覚を呼び起こすことから始めてください」と呼びかけている等の説明をされ、また、地区信条「輝こうロータリー ふたたび!」と基本的目的や運営方針等についての熱い思いを語られました。

午前中の最後は、基調講演として次年度地区会員増強委員会カウンセラーの西村PGから「会員基盤を整える -ロータリーを知り、ロータリーを楽しむ-」というテーマでご講演を頂きました。ロータリーの歴史を振り返りながら、会員減少の重大な原因は会員の『ロータリー』への理解と愛情不足であると説き、クラブとしてもっと皆がロータリーを知り、ロータリーを楽しむようにしてほしいと投げかけられました。

午後からはまずテーマ別研修があり、①諏訪PGから『奉仕の理念』を考えよう』というテーマでご講演を頂きました。



ご自身で作られた「ロータリーの歴史年表」も皆に配布して頂きました。次に②大之本PGからは「職業奉仕、そして職業サービス」と題したご講演を頂き、『親睦』と『サービス』はロータリーの両輪である事、「職業サービス」とは何かについてお話し頂きました。田村PGは③「ロータリー財団について」と題した講演の中で、「もっとロータリー財団の補助金を利用するように指導して欲しい」と語られました。最後に④「米山記念奨学会」について清水次年度地区米山記念奨学会委員長からのご講演がありました。

続いて会場を移動しての部門別研修に移り、会長エレクト部門では吉原GEが「クラブ会長の資格と任務」と題した講演を行い、グループ別セッションへと移りました。地区チーム研修部門では金子次年度地区研修リーダーから「地区委員会の重要性」についてのご講演を頂いた後、委員会別セッションへと移りました。

続いて、また一堂に会しての合同本会議第二部に入り、次年度地区活動計画の説明が各責任者からありました。金子次年度地区研修リーダーから「本日のセミナーは大成功であった」とのまとめを頂戴し、吉原GEの謝辞で会議の全日程を滞りなく終了しました。

合同懇親会も和気あいあいのうちに終わり、非常に有意義な一日となりました。





G3 IM報告

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 G3ガバナー補佐 牛見 正彦

2017-18年度RI第2710地区グループ3のIMを、平成30年3月3日(土)、藤中秀幸ガバナーほか多数のご来賓をお迎えし、山口・防府地区6クラブから152名の会員の参加を得て、山口市のホテルかめ福で開催しました。

今年は、明治維新150年に当たります。山口市では、「明治維新策源地」を標榜して、各種イベントの開催が予定されていますが、IMでは、明治維新の歴史としての側面に焦点を当て、様々な切り口から考えてみることにし、「幕末期の史実から学ぶこの国の成り立ちと平和」をテーマとして掲げました。

当日のプログラムは3部構成で、第1部は会津松平家14代当主・松平保久氏による基調講演「明治維新と戊辰150年～会津の思い」。今回のIMの成功は「殿の長州へのお成り」にかかっていたと言っても過言ではありません。長州と言うことで、多少躊躇されたようですが、最終的には、私たちの歴史認識を共有したいと言う希望を叶えていただきました。大変ありがたく思っています。

講演では、「愚直を旨とし、ならぬことはならぬに象徴される会津魂や、言われなき朝敵の汚名を着せられた会津人の悔しさ」などについて、会津の思いを存分に語っていただきました。

第2部は萩博物館の特別学芸員の一坂太郎氏による講演「吉田松陰の実像と長州・会津の意外な関係」。吉田松陰の実像と戦前の国定教科書などに見る虚像、松陰や久坂玄瑞と会津との交流など、興味深いお話を伺いました。

第3部はこのIMのために東京からお越しいただいた、NHKの

喜多賢治アナウンサーの軽妙な司会・進行により、「150年、歴史に学び、繋ぐために」というテーマで、お二人の講師に発言をいただきました。「歴史的な史実とそれに対する地域の思いとは全く別のものではないか、長州と会津の和解は、相互に交流を図りながら、自然な流れに任せるべきだ」という松平氏のご発言や、一坂氏の「両者のわだかまりが消えるのは、時間が経過して歴史が風化したとき。歴史の政治利用などを排除して、学問としての歴史をつないでいくべき」というご発言が心に残りました。

その後、講師及びインタビュアーを交えての懇親会を楽しみ、盛会のうちに終了しました。



G9 IM報告

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 G9ガバナー補佐 福島 偉人

春を感じる天気恵まれた3月10日(土)にグループ9のインターシティミーティングを「ロータリーの心で地域の創生を」をテーマに、7クラブ143名の登録者で三原国際ホテルにて開催しました。

当日はご来賓として藤中秀幸ガバナー、吉原久司ガバナーエレクト、安本政人地区代表幹事、村上光次年度ガバナー補佐をお迎えし、肅然とした中で開会式を迎えました。点鐘、国歌、奉仕の理想斉唱と式は厳粛に進みましたが、当年度内の物故者への黙祷でロータリアンとして一人の仲間を失ったことに心が痛みました。

第1部講演は、ヤマトホールディングス株式会社代表取締役会長、木川真様に「ヤマトグループが進めるイノベーションー物流による新たな地域創生ー」と題して講話をいただきました。「ヤマトグルー

プは事業戦略と社会活動の一体化を実践し、企業競争力と地域活性化、本業を通じて地域活性化のスピードを上げ、両立させた経営を目指す。更に、行政の補助金をあてにしないで地元企業と一緒に行くことが大切である。お客様に真心をお届けするヤマトです」と、情熱溢れる語り口により、素晴らしい講演となりました。





第2部講演では、高松南RC
パスト会長のマスウド・ソバハニ様
に「Aslotfeshoma(アズロットフェ
ショーマ)ーおかげさまー」と題し
て講話をいただきました。生い
立ちや多くの人との出会い、現在
までの生き様、また、ロータリアンと
しての取り組みでは、会長の時、

日本の全RCに手紙を送ったり、各国大使へ高松市に自費でお越し
いただく事業の案内などを展開され成果を上げられたことなど、
愉快にお話しいただきました。また、自分が住む国や地域のことを
勉強して覚えることを実践し、今日に生かしていることなど、素晴ら

しいお話を聞き、心に響くものがありました。

懇親会では、来賓として参議院議員、溝手顕正様(三原RC名誉
会員)をお迎えし、安本政人地区代表幹事の乾杯の下、盛大に
開催されました。

グループ9の各クラブの参加者が、お互いに旧交を温め合う談笑
の輪があちらこちらに見られ、時を追うに従って大きな渦となって
盛り上がっていきました。時を忘れるほどの盛大裡に懇親会を終了
することが出来ました。

終わりに、IMに参加いただいたご来賓各位、グループ9の会員、
三原ロータリークラブ会員、IM実行委員会の皆様に感謝の念を
申し上げ、報告とさせていただきます。



G6・G7合同IM報告

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 G6ガバナー補佐 奥芝 隆
2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 G7ガバナー補佐 迫田 勝明

2017-18年度2710地区グループ6・7合同インターシティーティン
グは、3月11日、広島市のリーガロイヤルホテルで開催されました。
来賓の藤中秀幸ガバナー、諏訪、田原両パストガバナー、次年度
ガバナー補佐の松井さん、松田さんの他、約490名の会員の皆さん
に参加して頂きました。

本年度のテーマは、RIライズリー会長のテーマ「ROTARY:
MAKING A DIFFERENCE ロータリー:変化をもたらす」と藤中
ガバナーの目標「地域の元気はみんなの元気」を踏まえて、「ポリオ
撲滅と米山奨学～今、私たちにできること」としました。

広島市の市民は、73年前、原爆の惨禍を経験し、世界の人々から
多くの慰みの言葉をいただきながら立ち直ってきました。私たち
広島のロータリアンは、今こそ、奉仕の心を通じて世界で困っている
人々にお返しすべき時ではないかと感じたからです。



広島ロータリーと広島中央ロータリーの
ローターアクトにも参加してもらい、ローター
アクトの活動にロータリアンの支援もお願い
しました。

基調講演は、先ず、地域医療推進機構
理事長の尾身茂さんに「アジアにおける
ポリオ根絶について」と題してご講演を

いただき、「ロータリーはこれまで30年間ポリオ撲滅に多大な貢献を
してきて、その功績は大なのに、ビル・ゲイツにその名を取られてはい
けない。ロータリーは最後まで支援しその名を残すべきだ」と示唆を
頂きました。



続いて、元中国大使の丹羽宇一郎さん
には「激動する国際情勢と日中関係のこ
れから」と題して講演をいただきました。
丹羽さんは「人間は嘘をつく、嘘はすぐば
れてしまう」と、吉田松陰の言った「世の
人はよしあし事もゆわばいへ 賤が誠は
神ぞ知るらん」に似た話をされ、「これか
らは若者を育て科学者を増やし、海外で勉強させることが大切だ」
などお話をいただきました。

いずれも意義深い講
演であったと思います。
私達広島のロータリアンも
更に元気を出して奉仕の
心をベースアップし、活動
を推進したいと感じたとこ
ろです。



G8 IM報告

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 G8ガバナー補佐 前垣 壽男

第2710地区グループ8のインターシティーミーティングは、地区内7
クラブから151名の登録を頂き、2018年3月24日(土)午後2時よりグラン
ラッセレ東広島にご来賓として藤中秀幸ガバナー、大之木精二パスト
ガバナー、吉原久司ガバナーエレクト、晝田眞三ガバナーノミニ、

安本政人地区代表幹事、神垣和典次年度ガバナー補佐の6名を
お迎えして開催いたしました。

基調講演に旧知の広島大学名誉教授安藤忠男先生から以前
に「SDGs持続可能な開発目標」についてのお話を聞いて、これは



RIの目標の重点分野とも重なる点が多くあり、ロータリークラブのIMに利用できると考え、広島中央経済同好会の例会で一度講演をして頂き、何人かから好評を頂き、IMの実行委員会で議論



の上、SDGsは2015年国連で合意され2030年までに17の目標と169のターゲットを達成する事を目指し、人類の発展方向を示す明確で具体的な未来像ですが、17の目標の中に「安全な水とトイレを世界中に」があり、RIの6つの重点分野の一つである「水と衛生」に合致する事と、東広島市は酒の町として水とのかかわりが深く、地下水保全活動なども古くから行っている事から「水」をテーマとして選びました。講演では地球の危機的状況を詳しく提示され、その課題を解決する方法としてSDGsが紹介されました。水のSDGsでは背景に水汚染や水源不足等の問題があり、SDGsの達成には、個人個人の行動、経験を組織活動に還元する方法を推奨するとして、安藤先生が30年前から自宅の敷地で実践しておられる手造りの独立型上下水道システムを紹介され、最後にグループ8に対して、災害時の避難場所となりうる施設に独立した水を確保ができる設備を建設するアイデアが提案されて、基調講演が終了しました。講演後、フロアとの意見交換会では安藤先生の実践への賞賛と多くのロータリアンとの意見交換で盛り上がり、地球温暖化による

海面水位の上昇、独立型上下水道システムを作るための初期投資やシステム管理費、地球の危機的状況に対するロータリー活動の取り組み、増加する空き家に水循環型の設備を作る等、質問や提案があり、それに安藤先生が丁寧に応答され感激した次第でした。

閉会セレモニーでは、藤中秀幸ガバナーから大変意義深いIMであったと講評を頂き、好評の内に終了しました。

本会議終了後は、西条と呉のお酒をたっぷり味わって頂き、和やかな懇親会は、手に手つないで歌って閉会となりました。

*この日は真鍋パストガバナーのお通夜の日となった事を書き添えておきます。 合掌



第24回ガバナー杯ロータリークラブ親善野球大会報告 ガバナー杯実行委員会



本年度で第24回目を迎えた、ガバナー杯野球大会は、地区内15チーム参加のもと、3月16日の前夜祭を皮切りに盛大に開催されました。

前夜祭では、松井広島市長、福田岩国市長をはじめ多くの来賓のご参加を賜る中、藤中秀幸ガバナーのご挨拶に始まり、例年通り組合せ抽選を中心に親睦と交流を深めました。

また本年度はガバナー杯野球大会の功労者である故・筒井数三パストガバナーの追悼セレモニーも行われ、参加者は黙祷を捧げました。

本年度の大会は天候に恵まれ、前夜祭翌日の17日、18日に呉二河球場にて、1回戦から準々決勝まで熱戦が繰り広げられました。

31日には、昨年新設されました岩国市の絆スタジアムにて、準決勝、3位決定戦、決勝戦が開催され、準決勝第1試合福山南RCと広島北RCとの対戦は8対16で広島北RCが勝利し、続く第2試合広島東南RCと防府RCとの対戦は8対8の同点と

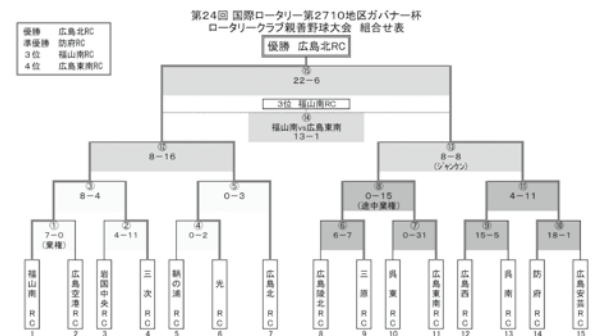
なり、大会規定によりジャンケンで、防府RCが勝利いたしました。(ジャンケンは0対5で防府RCの圧勝)

3位決定戦の広島東南RCと福山南RCとの対戦は1対13で福山南が勝利し、3位の座を勝ち取りました。

決勝戦の防府RCと広島北RCは、結果としては6対22の広島北RCの圧勝でしたが、序盤より点の取り合いとなる緊迫した場面が続き、4回の表を終了した時点で、6対7の接戦でした。広島北RCは7年ぶりの優勝。

上記熱戦のうちに、お陰様を持ちまして、24回目の大会も盛況裡に終了し、当地区におけるロータリアンの親睦と友情をより一層深めることが出来たと思います。

最後になりましたが、大会にご協力いただきました藤中秀幸ガバナーをはじめ、ご来賓・大会関係者の皆様方に深甚なる謝意を申し上げ、出場選手の健闘を讃えて、大会報告といたします。



国際ロータリー第2710地区 2017-18年度会員増減・出席率(2018年3月度)

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初7/1	当月末日	内女性	本年度入会	本年度退会
1	長門	88.93	25	24	4	1	2
	下関	75.44	49	48	1	2	3
	下関中央	82.43	31	35	6	4	0
	下関東	75.68	54	58	3	6	2
	下関北	88.15	43	43	0	3	3
	下関西	81.25	35	33	1	1	3
	計	81.98	237	241	15	17	13
2	萩	95.28	57	55	0	4	6
	萩東	97.21	22	23	1	1	0
	美祢	81.23	24	22	0	1	3
	小野田	81.28	35	37	3	3	1
	宇部	93.65	46	44	3	2	4
	宇部東	67.93	14	14	2	1	1
	宇部西	89.84	53	52	3	2	3
計	86.63	251	247	12	14	18	
3	防府	91.79	54	59	2	7	2
	防府北	84.63	17	20	1	3	0
	防府南	92.05	37	36	7	2	3
	山口	87.61	50	51	4	6	5
	山口県央	93.42	30	32	1	3	1
	山口南	88.00	41	41	4	3	3
	計	89.58	229	239	19	24	14
4	光	93.75	44	53	0	9	0
	周南西	89.04	55	53	4	2	4
	徳山	94.28	46	43	1	6	9
	徳山セントラル	94.69	24	25	0	3	2
	徳山東	94.95	51	50	0	2	3
計	93.34	220	224	5	22	18	

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初7/1	当月末日	内女性	本年度入会	本年度退会
5	岩国	84.18	60	63	0	9	6
	岩国中央	89.48	44	44	3	0	0
	岩国西	85.79	59	62	4	3	0
	柳井	100.00	33	30	2	0	3
	柳井西	95.94	24	24	2	2	2
	計	91.08	220	223	11	14	11
6	広島	99.53	115	120	1	14	9
	広島安芸	96.68	39	41	3	3	1
	広島安佐	86.49	25	21	2	1	5
	広島東	99.19	95	104	8	16	7
	広島北	100.00	92	95	0	7	4
	広島陵北	99.36	51	53	3	4	2
	大竹	87.82	32	32	0	3	3
計	95.58	449	466	17	48	31	
7	広島中央	99.85	78	78	6	5	5
	広島廿日市	95.54	33	34	2	2	1
	広島城南	99.00	44	46	3	3	1
	広島南	99.43	88	84	0	3	7
	広島東南	99.97	100	101	13	4	3
	広島西南	100.00	62	64	4	4	2
	広島西	100.00	81	84	2	6	3
計	99.11	486	491	30	27	22	
8	江田島	90.63	18	16	0	1	3
	東広島	97.14	33	33	2	2	2
	東広島21	77.19	18	16	4	0	2
	呉	92.13	65	63	0	5	7
	呉東	91.99	32	32	0	2	2
	呉南	91.02	59	61	3	2	0
	西条	99.71	38	38	3	3	3
計	91.40	263	259	12	15	19	

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初7/1	当月末日	内女性	本年度入会	本年度退会
9	広島空港	85.09	27	27	3	0	0
	因島	92.11	18	20	0	2	0
	三原	91.14	60	61	0	2	1
	尾道	80.39	78	81	2	5	2
	尾道東	91.02	53	52	4	1	2
	瀬戸田	80.37	5	5	1	1	1
	竹原	92.92	32	33	4	1	0
計	87.58	273	279	14	12	6	
10	府中	89.58	26	26	0	0	0
	福山	95.60	81	79	0	8	10
	福山東	91.51	48	48	2	0	0
	福山丸之内	95.47	31	32	1	2	1
	鞆の浦	88.71	23	24	0	2	1
	福山REC2710*	99.83	21	21	4	1	1
	計	93.45	230	230	7	13	13
11	福山赤坂	78.77	48	50	7	2	0
	福山北	92.59	42	41	0	1	2
	福山南	87.32	57	60	2	4	1
	福山西	97.79	40	40	4	1	1
	松永	90.41	53	53	3	1	1
	計	89.38	240	244	16	9	5
	12	吉舎	95.41	18	16	0	0
三次		85.29	39	42	0	4	1
三次中央		93.44	44	42	5	0	2
庄原		86.37	33	32	4	2	3
東城		92.62	19	19	1	0	0
計		90.63	153	151	10	6	8
第2710地区計		90.48	3251	3294	168	221	178

※正式名称「福山ロータリーEクラブ2710」

特別コラム 日本のロータリー誕生とわが地区史⑪

わが国の地区の変遷は

10回にわたり日本のロータリー誕生史を紹介した。西暦2020年の100周年を目前に控え、改めて激動の歴史を振り返ると実に興味深い。

さて、広島・山口県で構成するわが2710地区(当初271地区)も、岡山・山陰(鳥根・鳥取県)と分離し現領域になったのが1977-78年廣澤忠彦ガバナー(宇部RC)であるから、今年40周年の記念すべき節目を迎えている。

今月号から7月号まで3回の限られたスペースとなったが、40年を迎えたわが地区(広島・山口県)の歴史を振り返り、地区の変遷をひも解いてみたい。

わが国に地区が設定されたのが1928年(昭和3年)7月、日本・朝鮮・満州・樺太・千島・台湾を領域とする第70地区であったことは既に記述した。朝鮮の京城を含め7クラブで地区の設定は無理と言われていたのを、日本の強い要望と熱意で地区が設けられた経緯がある。

1939年(昭和14年)7月、クラブ拡大により既存の70地区を分割し、70(東日本)、71(西日本・台湾)、72(朝鮮・満州)となる。1932年(昭和7年)2月6日、わが地区内初、唯一のクラブとして誕生した広島ロータリークラブは71地区に属していた。国際的に孤立したわが国のロータリークラブは厳しい干渉を受け、1940年(昭和15年)

国際ロータリー第2710地区バスターガバナー 西村 栄時

9月4日、遂にRIを離脱し全クラブは解散した。第2次世界大戦勃発前年のことである。当時のクラブ数48(内地37、外地11)そのうち19のクラブが名称を変え例会を続けた。

異例の厚遇広島ロータリークラブ

1949年(昭和24年)3~6月、苦難を乗り越え7クラブ(東京・京都・大阪・名古屋・神戸・福岡・札幌)がRIへ復帰し、新年度に入った同年7月、無地区であったわが国全域が新たに第60地区となる。少し遅れ、広島火曜会を解散し広島ロータリークラブが誕生する。認証状伝達式にはパーシー・ホジソンRI会長自らが参加し、黒川巖会長に直接認証状を手渡した。この異例の厚遇は、悲惨な被害を受けた広島への厚い思い、平和を願うロータリーの象徴的配慮を感じさせる。

翌50年度には呉クラブ、51年度は福岡・門司両クラブのスポンサーにより山口県最初の下関クラブと続く。復帰後の拡大は目覚ましく、1952年(昭和27年)には近畿以西の西日本地域が分離し61地区となる。その年度には山口、尾道、徳山が、翌53年度には福山が誕生。相次ぐクラブの創立により55年度には更に地区の領域を狭め、中国・九州地区を包含する64地区となる。広島南誕生。翌56-57年度には広島クラブの黒川巖が地区ガバナーに就任する。(敬称略)

新会員紹介



西川 裕之
下関中央RC
2018年1月13日
石油卸小売業



棟久 利伸
下関西RC
2018年3月14日
印刷



小野 秀治
岩国RC
2018年2月22日
電力供給



二張 洋司
柳井RC
2018年4月3日
普通銀行



松元 晴美
柳井RC
2018年4月3日
証券業



佐藤 暖以子
広島西南RC
2018年3月6日
電子部品卸売業



沖井 翔
広島西南RC
2018年3月6日
防水工事業



柵町 隆博
江田島RC
2018年3月1日
スーパーストア



干鯛 潤
三原RC
2018年3月6日
弁護士




川原 真奈美
瀬戸田RC
2018年3月1日
農産物生産




新会員名
所属RC
入会日
職業分類


謹んで追悼の意を表します




■ロータリー歴
1977-78年度 会長、1982-83年度 地区委員長(青少年交換)
1984-85年度 RI第271地区第5分区分代理
1992-93年度 RI第271地区ガバナ
ベネファクター、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(3回)
第7回米山功労者マルチプル
■職業分類 外科医
呉 RC
故 **真鍋 欣良** 殿 2018年3月23日 ご逝去
(享年97歳)



■ロータリー歴
1979年5月 広島東ロータリークラブ 入会
2006-07年度 第48代会長
ポール・ハリス・フェロー、米山功労者
■職業分類 光学製品配付
広島東 RC
故 **三宅 恒治** 殿 2018年3月26日 ご逝去
(享年76歳)



■ロータリー歴
1995年5月~2004年6月 広島廿日市ロータリークラブ
2009年3月 広島東ロータリークラブ 入会
2011-12年度 クラブ奉仕B部門(広報部門)理事
2014-15年度 副SAA(役員)、以後各委員会歴任
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、米山功労者
■職業分類 経営相談
広島東 RC
故 **下原 實** 殿 2018年3月26日 ご逝去
(享年76歳)



■ロータリー歴
1998-99年度 幹事、2001-02年度 会長
2006-07年度 幹事、2011-12年度 会長
ポール・ハリス・フェロー、準米山功労者
■職業分類 保育園
瀬戸田 RC
故 **古賀 秀彦** 殿 2018年3月27日 ご逝去
(享年78歳)



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報

「ロータリーを語る」	ロータリー復帰協議会	1948	45p	
「奉仕こそ我がつとめ」	小林 雅一 訳	1956	143p	東京R.C.
「そろばんと論語」	塚本 義隆	1974	60p	
「はげすめ」	安野 譲次	1974	139p	
「ロータリーの心得」	ガイ・ガンデッカー 著;田中毅 訳	—	33p	
「やさしいロータリーの話 -間柄の美学-」	佐藤 千壽	1984	27p	
「The Meaning of Rotary ロータリー解析」	Vivian Carter 著;田中毅 訳	1999	99p	
「ロータリーへの道(三訂版)」	ポール・ハリス 著;柴田實 訳	2011	372p	成田R.C.
「『ロータリーの理想と友愛』読本」	富田 英壽 編著	2016	274p	

[上記申込先]
ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp/>
開館 = 午前10時~午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

国際ロータリー
第2710地区 事務局

〒732-0822 広島市南区松原町 1-5 ホテルグランヴィア広島 6F
TEL:082-506-0055 FAX:082-263-2323 E-mail:info@ri2710.com URL:<http://ri2710.com/>